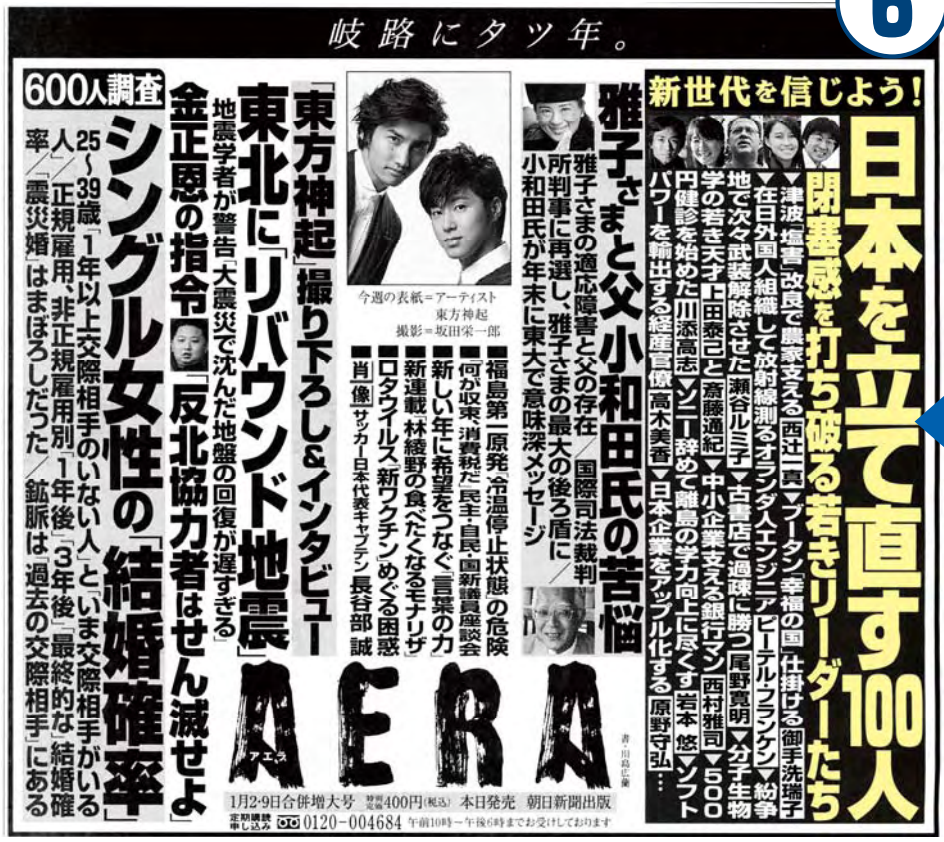


変わらなければならぬ

難しい時代だからこそ、政治は、そして国民も変わらなければならぬ。特に政治家は新しい時代の的確にこなすために、国民自身が変わって行くための先導役、触媒の役割を果たさなければならぬ。そして相互の対話と、互いの理解以外に、新しい時代をつくって行くものはない。暮れには週刊誌AERAの特集企画「日本を立て直す100人」が組まされた。あらためて次代を担う人材の層の厚さに、頭の下がる思いです。そして政治、行政分野でご期待いただいたこと、ありがとうございました。もったいないやう、驚くやう、しかし、もともとそのじ意気なで始めた挑戦です。覚悟をもってこの節目の年に臨みたいと思っております。

6



「日本を立て直す100人——閉塞感を打ち破る若きリーダーたち」
Asahi Shimbun Weekly AERA 2012.1.2-9 より

未来を創るのは私たちが



政治・行政
小川淳也 (40) 民主党衆議院議員
自治省(当時)を経て05年総選挙で初当選、現在2期目。総務政務官も務める。非正規雇用が常態化するなか、「どこへ移っても不利がない、どんな勤め方でも変わらない、すごくフラットな仕組みに変えてやればいい」とインタビューで発言

政治・行政
小川淳也 (40) 民主党衆議院議員
自治省(当時)を経て05年総選挙で初当選、現在2期目。総務政務官も務める。非正規雇用が常態化するなか、「どこへ移っても不利がない、どんな勤め方でも変わらない、すごくフラットな仕組みに変えてやればいい」とインタビューで発言